

# ティーンズ通信

## 流れる歴史の中で②

—17世紀から現代まで—

NO.41 2017年1月発行

川口市立図書館発行

17世紀から産業革命や様々な戦争を経て、時代は大きく変化します。

激動の時代の中、人々はどんな思いで生きていたのでしょうか？

### 『からすが池の魔女』

E.G.スピア／作 掛川恭子／訳  
岩波書店 K933

1687年、バルバドス島でのびのび育ったキットは、アメリカの田舎町に住むことになった。しかし、彼女の自由な振る舞いは閉鎖的な町の人々から冷たい視線を向けられる。やがてキットは魔女だという噂が流れて…。アメリカで起きた魔女裁判を下敷きに、気高く生きる少女の姿を描く。

### 『浪花ふらふら謎草紙』

岡篠名桜／著 集英社 913.6

幼い頃花歩は、旅籠さと屋で置き去りにされ、宿の娘として育てられた。花歩は父の残した絵の風景を探して歩くうちに町に詳しくなる。そして、浪花の町案内を始めて評判になるが、さと屋の周りでは様々な事件が起こっていく…。天下の台所である大阪の賑わいを感じられる、青春時代小説シリーズ。

### 『スピリット島の少女』

ルイズ・アードリック／著 宮木陽子／訳  
福音館書店 Y933

1847年、アメリカ。白人による西部開拓が進む中、先住民族の少女・オマーカヤズと家族は、自然と共に暮らしていた。狩りをし、薬草を採り、樹皮で家を作る。自然の厳しさと美しさの中で、少女は強くしなやかに成長していく。

1660~1671年

1687年

18世紀後半

19世紀前半

1847年

1863~1869年頃

### 『樅の木は残った』上・中・下(新潮文庫)

山本周五郎／著 新潮社 Y913

仙台藩の宿老・原田甲斐は、その人柄から多くの人に好かれていた。伊達兵部の悪政により、藩内では内紛が起こっていた。しかし、裏にある陰謀を読み取った甲斐は味方をも欺いて兵部に近づいていく。悪い噂や孤立にも負けず、藩の安定のために粘り強く闘う男を描いた作品。

### 『見習い物語』上・下

レオン・ガーフィールド／作  
斉藤健一／訳 岩波書店 Y933

18世紀後半のイギリス。ロンドンの下町では、多くの少年少女が見習いとして働いていた。一人前になるためには7年間の修業が必要だった。鏡細工師、産婆、靴屋…辛い日々の中にも、小さな喜びがある。名も無き少年少女たちが懸命に生きる姿を描く短編集。

### 『燃えよ剣』上・下(新潮文庫)

司馬遼太郎／著 新潮社 Y913

幕末、新選組の土方歳三は、鬼の副長と恐れられ、時に冷酷なまでに剣を振るった。そして、新選組を最強の剣客集団へと作り上げていく。池田屋事変、鳥羽伏見の戦い、そして函館戦争…ひたすらに剣で戦い、幕末を駆け抜けた男の生涯。

『あしながおじさん』

J.ウェブスター／作・画 坪井郁美／訳  
福音館書店 Y933

20世紀初頭のアメリカ。孤児のジュディは、文学の才能を認められ、名前も知らない人物の援助で大学に通うことになる。唯一の条件は、その人にあてて手紙を書くこと。ジュディは、その人を「あしながおじさん」と呼び、愉快な大学生活の出来事を手紙で綴る。

『碁を打つ女』

シャン・サ／著 平岡敦／訳  
早川書房 Y953

1937年、日本軍が占領している満州。千風広場で町の人々は、碁を打つことに夢中になっていた。男性に混じって碁を打つ地元の少女と、日本から来た兵士。政情が不安定な中、2人はお互いのことは知らないまま、連日碁を打つ約束をして対局にのめり込んでいく。

『オール・マイ・ラヴィング』

岩瀬成子／著 小学館 Y913

1966年、ビートルズが日本にやってきた年、わたしは14歳だった。ビートルズを聴くと、音楽が体になだれ込み、泣きたくなくなるほど苦しかった…。学校と家と近所が世界の全てだったけれど、ビートルズだけがもっと広い世界を見せてくれた。14歳の揺れ動く日々。

1912年頃

1914~1918年頃

1937年

1939~1945年頃

1966年

1995年

『戦火の馬』

マイケル・モーパーゴ／著 佐藤見果夢／訳  
評論社 Y933

舞台は、第一次世界大戦の、イギリスとドイツの戦い。馬のジョーイは、少年アルバートと穏やかに暮らしていたが、やがて軍馬として売られて戦場に出ることになる。死と隣り合わせの壮絶な日々、その状況下で生まれた人間や馬同士の心を通わせるドラマが馬の視点で語られる。

『彼の名はヤン』

イリーナ・コルシュノフ／作 上田真而子／訳  
徳間書店 Y943

第二次大戦下のドイツ。戦争の正しさを信じて疑わなかった少女・ザビーネは、ポーランド人の少年・ヤンと出会う。ザビーネはヤンを通して広い世界を知り、戦争の恐ろしい現実を見つめ始める。お互いに惹かれあう二人だったが、ドイツ人とポーランド人の恋は大罪だった…。

『翔ぶ少女』

原田マハ／著 ポプラ社 Y913

阪神大震災で両親を失った少女丹華(ニケ)は、兄妹とともに医者ゼロ先生と一緒に生活を始める。仮設住宅や学校で窮屈な思いをしながらも、復興を目指してゼロ先生と共に、地域の人々と絆を育んでいく。大切な人を想う丹華の気持ちはやがて形となり、他の人の心を動かしていく。

編集後記 2回にわたり、古代から1990年代まで歴史を見てきましたが、いかがでしたか？私たちが生きている「今」もいつか歴史になっていくのでしょうか。

後世の人々が「今」をどのように描くのか、読んでみたいですね。(担当0)

好きな歴史の作品は見つかりましたか？見つけたら作品の舞台となった場所に実際に行き、その時代や登場人物に思いを馳せてみてください。(担当1)